|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　１

一　次のアからエの文では、（　　）の中の１から４までのうち、どれが最も適切ですか。

それぞれ一つ選びなさい。

ア　長い間休んでいたので、仕事がすっかり

（１　とどこおって　　２　いきどおって　　３　にえたぎって　　４　とりまぎれて）

しまっていた。

イ　習いたての

（１　まがまがしい　　２　たどたどしい　　３　にぎにぎしい　　４　しらじらしい）

英語だったが、現地の人とどうにかコミュニケーションをとることができた。

ウ　心の中の思いを五・七・五・七・七の短歌の形に

（１　つまんで　　２　つもって　　３　つむいで　　４　つかんで）伝える。

エ　そんな大変な仕事は

（１　一期一会　　２　一朝一夕　　３　一進一退　　４　一喜一憂）にできるものでは

ない。

二　次の文中の線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

　Ａさんが今学期の終わりに転校するらしいということを、小耳につまんだ。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　２

一　次のアからエの文では、（　　）の中の１から４までのうち、どれが最も適切ですか。

それぞれ一つ選びなさい。

ア　いつまでも意地を（１　張る　　２　食う　　３　取る　　４　立てる）よりも、素直に謝った方がいいよ。

イ　先週買った新しい靴が、ようやく足に

（１　にじんで　　　２　ほころんで　　３　なごんで　　４　なじんで）きた。

ウ　新学期が始まるのを、私は（１　胸　　２　息　　３　ひざ　　４　声）をはずませて

待っている。

エ　人生を登山に

（１　たずさえる　　２　わきまえる　　３　なぞらえる　　４　すりかえる）なら、

今はまだ二合目あたりだろう。

二　次の文中の線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

授業参観日に忘れ物をしてしまい、ずいぶんきまりが狭い思いをした。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　３

一　次のアからエの文では、（　　）の中の１から４までのうち、どれが最も適切ですか。

それぞれ一つ選びなさい。

ア　彼女は、突然届いた悲しい知らせに、

（１　せり上げて　　２　しゃくり上げて　　３　でっち上げて　　４　たたき上げて）

いた。

イ　ぼくはその時、自分の本当の気持ちを言うことに、

（１　いさかい　　２　かねあい　　３　ふるまい　　４　ためらい）を感じていた。

ウ　魚は一度に

（１　あわただしい　　２　けたたましい　　３　おびただしい　　４　かいがいしい）卵を産む。

エ　私は、プロの野球選手がホームランを打つ瞬間を

（１　間　　２　真　　３　魔　　４　目）の当たりにし、とても感動した。

二　次の文中の線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

　父は、一人暮らしをしていた私に、三日にあかず手紙を書いてよこした。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　４

一　次のアからエの文では、（　　）の中の１から４までのうち、どれが最も適切ですか。

それぞれ一つ選びなさい。

ア　英国生まれのＡさんは二十年間日本に住んでいるので、彼の日本語には

（１　年限　　　２　年代　　　３　年輪　　４　年季）が入っている。

イ　君がご飯をごちそうしてくれるなんて、今日は随分

（１　気さく　　２　気前　　３　気勢　　４　気まま）がいいね。

ウ　目標を達成しようと思ったら、それに向かって

（１　いささか　　２　さながら　　３　ひたすら　　４　くしくも）努力することが

大切だ。

エ　無人駅のホームに降りると、

（１　さもしい　　２　わびしい　　３　ひもじい　　４　やましい）光景が広がっていた。

二　次の文中の線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

　会長候補として、白羽の矢が飛ぶ。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　５

一　次のアからエの文では、（　　）の中の１から４までのうち、どれが最も適切ですか。

それぞれ一つ選びなさい。

ア　私は、試合前に骨折してしまい、

（１　やるせない　　２　はかない　　３　しがない　　４　ほかならない）

気持ちになった。

イ　昨日も今日も雨で、気が（１　回る　　２　きく　　３　すむ　　４　めいる）。

ウ　鍵が見つからないと思って家中探し回ったが、今着ている上着のポケットに入っていた。（１　論より証拠　　２　急がば回れ　　３　転ばぬ先のつえ　　４　灯台下暗し）だね。

エ　あの人は、自分のことを（１　天井　　２　屋根裏　　３　棚　　４　軒）に上げて、

人の批判ばかりしている。

二　「の川流れ」に似た意味のことわざを一つ答えなさい。

二

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　６

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

一　次のアからエの文のうち、「　　」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア　「いずれ」

　１　今から二十年後の世界がどうなっているかなんて、いずれ想像もつかない。

　２　彼がそんなことをするなんて、いずれ信じられない。

　３　ＡさんとＢさんのどちらが正しいか、いずれ分かることだ。

イ　「戸惑う」

１　わたしの思いがけない質問に、彼は一瞬戸惑ったような顔をした。

２　みんなを先に行かせ、わたしはその場に一人で戸惑った。

３　雑用を片づけるのに随分戸惑ってしまい、帰るのが遅くなった。

ウ　「とうてい」

　１　彼の本当の気持ちなど、君にはとうてい分かるまい。

　２　紅葉した木々が、とうてい燃えているように山を彩っている。

　３　こんなに雪が降っていては、とうてい客足は遠のいてしまうだろう。

エ　「やり過ごす」

　１　嫌われているかもしれないなんて、それは君のやり過ごしだよ。

　２　夜ふかししたので、次の朝はやり過ごしてしまった。

　３　混んでいたバスを二、三台やり過ごして、すいたのに乗った。

二　「戸惑う」の類義語を、「惑」の字を含んだ二字熟語で答えなさい。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　７

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

一　次のアからエの文のうち、「　　」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア　「鮮烈」

　１　生ものは傷みやすいので、鮮烈なうちに食べた方がよい。

　２　サッカー部に入ったＡさんは、毎日鮮烈に練習した。

　３　彼はデビュー戦でホームランを打ち、鮮烈な印象を与えた。

イ　「むさぼる」

　１　Ａさんは、むさぼるように本を読みあさった。

　２　Ｂさんは、部活をむさぼって帰ってしまった。

　３　Ｃさんは、賞品のノートを両手いっぱいにむさぼった。

ウ　「根掘り葉掘り」

　１　私の好きな食べ物や好きな本などを、根掘り葉掘り聞かれた。

　２　子供たちが遊んだ後の部屋は、根掘り葉掘り散らかっていた。

　３　Ａさんは、運動会の各競技で根掘り葉掘りの大活躍をした。

エ　「尋常」

　１　尋常から体を鍛えておくことが大切だ。

　２　今年の夏の暑さは尋常ではない。

　３　尋常な事態に備えて訓練をする。

二　「尋常」の対義語を、「常」の字を含んだ二字熟語で答えなさい。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　８

一　次のアからエの文のうち、「　　」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア　「心もとない」

　１　たくさんの人が試合の応援に来てくれて、心もとない。

　２　あの人がきちんと責任を果たしてくれるかどうか、心もとない。

　３　あの人にはずいぶん迷惑をかけてしまって、心もとない。

イ　「すこぶる」

　１　この料理はすこぶるおいしい。

　２　呼び出しを受けてすこぶるかけつけた。

　３　すこぶる明日は雨になるだろう。

ウ　「とって付けたよう」

　１　今日はお客様のために、心を込めてとって付けたような品物を用意した。

　２　の葉の上を転がる朝露は、とって付けたような美しさだ。

　３　彼は遅刻の理由を問われて、とって付けたような言い訳をした。

エ　「沈着」

　１　弟は、母に叱られて沈着な表情をしていた。

　２　予想外の出来事にも、沈着に行動する。

　３　嵐で流された舟が、離れ小島に沈着する。

二　「沈着」の二字を含む、似た意味の四字熟語を一つ答えなさい。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　９

一　次のアからエの文のうち、「　　」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア　「腕を振るう」

　１　本番で実力が出せるように、日々腕を振るっている。

　２　今日は家族のために、私が腕を振るって夕食を作った。

　３　不正なことが腕を振るってまかり通るのは良くない。

イ　「せわしい」

　１　年末の商店街は、新年の準備をする人がせわしく行き交っていた。

　２　風邪で寝込んでいる私に、こんなにせわしくしてくれてありがとう。

　３　事情がよく理解できないので、せわしく説明してくれませんか。

ウ　「うやうやしい」

　１　社長が部屋に入ってきたとき、社員たちはうやうやしくおじぎをした。

　２　Ａさんは毎年海外旅行に出かけると聞いて、私はとてもうやうやしく思った。

　３　物事をうやうやしくしておくのは嫌いなので、はっきり決着をつけたい。

エ　「胸を打つ」

　１　一点差で試合に敗れ、悔しさのあまり胸を打った。

　２　私の頼み事を、彼は胸を打って引き受けてくれた。

　３　オーケストラの素晴らしい演奏が私の胸を打った。

二　「腕」という言葉が入り、「自分の技量・力量に自信がある」という意味の慣用句は何か。（　　　）に当てはまる言葉を答えなさい。

腕に（　　　　　）がある。

　腕に（　　　　　）がある。

解答欄

イ

ア

ウ

エ

一

二

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート　10

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

一　次のアからエの文のうち、「　　」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア　「すずめの涙」

　１　葉の上の朝露がすずめの涙のように美しい。

　２　カニスープと書いてあるのに、カニはすずめの涙ほどしか入っていない。

　３　小説に感動して、私はすずめの涙を流した。

イ　「頭が下がる」

　１　期末試験の準備ができていないことを考えると、頭が下がる。

　２　試合で痛恨のエラーをしてしまって、頭が下がる。

　３　Ａさんの、いつもまじめで正直な態度には頭が下がる。

ウ　「かんで含める」

　１　授業の内容が、かんで含めるようによく分かるようになった。

　２　機械の使い方を、かんで含めるようにていねいに説明した。

　３　試験前日になって、かんで含めるようにあせって勉強をした。

エ　「辞去」

　１　危険なものがあれば、すべて辞去しなければならない。

　２　私は委員長に推薦されたが、自信がないので辞去した。

　３　知人の家を訪問していたが、夕方になったので辞去した。

二　「顔」の部首の部分を書きなさい。また、その部首の名前をひらがなで答えなさい。

部首の名前

部首

イ

ア

ウ

エ

一

二

解答欄

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１１

■　次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

谷川の岸に小さな学校がありました。

　教室はたった一つでしたが生徒は三年生がないだけで、あとは一年から六年までみんなありました。運動場もテニスコートのくらいでしたが、すぐうしろはの木のあるきれいな草の山でしたし、運動場のすみにはごぼごぼつめたい水をく岩穴もあったのです。

　　　　　　　　（宮沢賢治「風の又三郎」より）

問一　線部①、③、④の品詞をそれぞれ答えなさい。

問二　線部②「教室はたった一つでしたが」を単語に分けるといくつになりますか。漢数字で答えなさい。

問三　本文から外来語を抜き出して書きなさい。

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
| ① |
|  |
| ③ |
|  |
| ④ |
|  |

|  |
| --- |
| 問二 |
|  |
| 問三 |
|  |

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１２

■　次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

　ある日の事でございます。は極楽ののふちを、独りでぶらぶらきになっていらっしゃいました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のようにまっ白で、そのまん中にあるのからは、何ともえないいが、なくあたりへれてります。極楽は朝なのでございましょう。

　やがて御釈迦様はその池のふちにみになって、水のをっている蓮の葉の間から、ふと下のを御覧になりました。この極楽の蓮池の下は、丁度の底にって居りますから、のような水をきして、の河や針の山の景色が、丁度きを見るように、はっきりと見えるのでございます。　　　　　（芥川龍之介「の糸」より）

問一　線部①「ございます」は敬語ですが、次のアからウのどれに当てはまりますか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　尊敬語　　　　　イ　謙譲語　　　　　ウ　丁寧語

問二　線部②「御覧になりました」とありますが、「御覧になる」を、敬意を含まない言い方に直しなさい。

問三　本文中にある比喩表現をすべて抜き出して書きなさい。

解答欄

問三

問二

問一

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１３

■　次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

　――人間の心にはに　①　した二つの感情がある。、誰でも他人の不幸に同情しない者はない。がその人がその不幸を、どうにかして切りぬける事が出来ると、今度はこっちで何となく物足りないような心もちがする。少し誇張してえば、もう一度その人を、同じ不幸にれて見たいような気にさえなる。そうしていつの間にか、消極的ではあるが、ある敵意をその人に対して抱くような事になる。――が、理由を知らないながらも、何となく不快に思ったのは、池の尾の僧俗の態度に、この傍観者の利己主義をそれとなく感づいたからにほかならない。

（芥川龍之介「鼻」より）

問一　　①　には次のアからウのうちどれが入りますか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　蛇足　　　　イ　矛盾　　　　ウ

問二　線部②「誇張して」を言いかえると、次のアからウのうちどれになりますか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　分かりやすく　　　　イ　気を引きしめて　　　　ウ　おおげさに

問三　線部③「消極的」の対義語を漢字で書きなさい。

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
| 問二 |
|  |
| 問三 |
|  |

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１４

■　次の文章を読んで、問一から四に答えなさい。

　すると、一生懸命にのぼったがあって、さっきまで自分がいた血の池は、今ではもうの底にいつの間にかかくれてります。それからあのぼんやり光っているしい針の山も、足の下になってしまいました。この分でのぼって行けば、地獄からぬけ出すのも、存外わけがないかも知れません。は両手をの糸にからみながら、ここへ来てから何年にも出した事のない声で、「しめた。しめた。」と笑いました。ところがふと気がつきますと、蜘蛛の糸の下の方には、もない罪人たちが、自分ののぼった後をつけて、まるでの行列のように、やはり上へ上へ一心によじのぼって来るではございませんか。はこれを見ると、驚いたのと恐しいのとで、しばらくはただ、のように大きな口をいたまま、ばかり動かして居りました。自分一人でさえれそうな、この細い蜘蛛の糸が、どうしてあれだけのの重みにえる事が出来ましょう。

（芥川龍之介「蜘蛛の糸」より）

問一　線部①「ぼんやり」の品詞を答えなさい。

問二　線部②「『しめた。しめた。』と笑いました」とありますが、このような笑いを表す言葉として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　苦笑いする　　　　　イ　ほくそ笑む　　　　　ウ　する

問三　線部③「まるで蟻の行列のように」で使われている表現技法を次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　直喩　　　　イ　隠喩　　　　ウ　擬人法

問四　線部④「の」と同じ用法のものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　それは、私の本です。

　　イ　私は、コーヒーは熱いのが好きです。

　　ウ　彼の歩んできた道は、ではなかった。

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
| 問二 |
|  |
| 問三 |
|  |
| 問四 |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１５

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

■　次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

は極楽ののふちに立って、この一部始終をじっと見ていらっしゃいましたが、やがてが血の池の底へ石のように沈んでしまいますと、悲しそうな御顔をなさりながら、またぶらぶら御歩きになり始めました。自分ばかり地獄からぬけ出そうとする、の無慈悲な心が、そうしてその心相当な罰をうけて、元の地獄へ落ちてしまったのが、御釈迦様の御目から見ると、しくされたのでございましょう。

　しかし極楽の蓮池の蓮は、少しもそんな事には致しません。その玉のような白い花は、御釈迦様ののまわりに、ゆらゆらを動かして、そのまん中にある金色のからは、何ともえないいが、なくあたりへれてります。極楽ももうに近くなったのでございましょう。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（芥川龍之介「の糸」より）

問一　線部①「一部始終」の意味として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　始めから終わりまで全部

　　イ　始めと終わりの部分だけ

　　ウ　始まってからほんの一部

問二　線部②「無慈悲」は「慈悲」に打ち消しの「無」を付けたものですが、同じように、上に打ち消しの漢字を付けることのできる熟語があります。次の(1)から(3)には、それぞれどの打ち消しの漢字を付けたらよいでしょうか。最も適切なものをアからエまでの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1)　　完成　　　　(2)　　常識　　　　(3)　　人気

ア　無　　　イ　不　　　ウ　未　　　エ　非

問三　線部③「蓮は、少しもそんな事には致しません」で使われている表現技法を次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　体言止め　　　　イ　直喩　　　　ウ　擬人法

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
| 問二 |
| (1) |
|  |
| (2) |
|  |
| (3) |
|  |
| 問三 |
|  |

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１６

■　次の１と２は、石川啄木の短歌です。これを読んで、問一から三に答えなさい。

１

心よりは逃げ去れり

あるのごとき

不平逃げ去れり

２

はたらけど

はたらけどわが楽にならざり

ぢっと手を見る

問一　１の短歌で使われている表現技法を次のアからエまでの中から二つ選び、記号で答えなさい。（ただし、解答の順序は問わない。）

　　ア　反復　　　イ　体言止め　　　ウ　直喩　　　エ　倒置

問二　２の短歌の句切れはどこですか。①から③までの中から一つ選び、番号で答えなさい。

問三　石川啄木の作品を次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　「みだれ」　　　　イ　「」　　　　ウ　「一握の砂」

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
|  |
| 問二 |
|  |
| 問三 |
|  |

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１７

■　次の文章を読んで、問一から四に答えなさい。

六月中旬の事であった。ある日仕事をしていると子供が呼びに来た。猫をもらって来たから見に来いというのである。行って見るともうかなり生長した三毛猫である。おおぜいが車座になってこの新しいの一挙一動を好奇心に満たされて環視しているのであった。　　　　　（中略）

　畳の上におろしてやると、もうすぐそこにある紙切れなどにじゃれるのであった。その挙動はいかにも軽快でそして優雅に見えた。人間の子供などはとても、自分のからだをこれだけに取り扱われようと思われない。英国あたりの貴族はどうだか知らないが。

　それでいて一挙一動がいかにも子供子供しているのである。人間の子供の子供らしさと、どことは明らかに名状し難いところに著しい類似がある。

　のら猫の子に比べてなんという著しいタイショウだろう。彼は生まれ落ちると同時に人類を敵として見なければならない運命を授けられるのに、これははじめから人間の好意に絶対の信頼をおいている。見ず知らずの家にもらわれて来て、そしてもうそこをわが家として少しも疑わず恐れてもいない。どんなにひどく扱われても、それはすべてよい意味にしか受け取られないように見えるのである。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（寺田寅彦「ねずみと猫」より）

問一線部①「かなり」の品詞を書きなさい。

問二 線部②「車座」の読みをひらがなで書きなさい。また、この熟語の読み方として最も適切なものをアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　音と音　　　イ　訓と訓　　　ウ　重箱読み　　　エ　湯桶読み

問三　線部③「タイショウ」を漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

問四　線部④「授けられるのに」とありますが、「授ける」の類義語として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　与える　　　イ　受ける　　　ウ　たずさえる

記号

読み

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
| 問二 |
|  |
|  |
| 問三 |
|  |
| 問四 |
|  |

解答欄

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

■　次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１８

　は京都の高瀬川を上下する小舟である。時代に京都の罪人がを申し渡されると、本人の親類がへ呼び出されて、そこでいとまごいをすることを許された。それから罪人は高瀬舟に乗せられて、へ回されることであった。それを護送するのは、京都町奉行の配下にいる同心で、この同心は罪人の親類のうちで主だったを、大阪まで同船させることを許す慣例であった。これはへ通ったことではないが、いわゆる大目に見るのであった、黙許であった。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（「高瀬舟」より）

問一　線部①「れる」と同じ働き・意味の「れる」が含まれるものを、次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　かごの鳥が野に放たれる。

　　イ　先生が黒板に字を書かれる。

　　ウ　昔のことがふと思い出される。

問二　線部②「いとまごいをする」の意味として最も適切なものを次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　食べ物やお金を与える

　　イ　別れのあいさつをする

　　ウ　刑罰を軽くしてもらう

問三　線部③「護送」とありますが、「護」の「つくり」と組み合わせたとき、別の常用漢字となる「へん」は、アからウのうちではどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。また、選んだ「へん」の名前を答えなさい。

　　ア　礻　　　　イ　氵　　　　ウ　犭

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
| 問二 |
|  |
| 問三 |
| 記号 |
| へんの名前 |

解答欄

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート１９

■　次の詩を読んで、問一、二に答えなさい。

初恋　　　　島崎藤村

まだあげめし前髪の

のもとに見えしとき

前にさしたるの

花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて

林檎をわれにあたへしは

の秋の実に

人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいきの

その髪の毛にかかるとき

たのしき恋のを

君がにみしかな

林檎ののに

おのづからなる細道は

が踏みそめしかたみぞと

問ひたまふこそこひしけれ

問一　線部①「の」と同じ働きの「の」を、詩の中の　　線部㋐から㋒までの中から一つ選び、記号で答えなさい。

問二　線部②「あたへし」の読みを現代仮名遣いで書きなさい。

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
|  |
| 問二 |
|  |

|  |
| --- |
| 学年　　　　組　　　　名前 |
|  |
|  |

中学校　国語　「言葉の力」パワーアップシート２０

■　次の漢詩を読んで、問一から四に答えなさい。ただし、設問の都合で返り点を省略している箇所があります。

春望　　　　　杜甫

レテ 　　　　　　　 　　　リ

国　　破　　山　　河　　在　　　国破れて山河在り

ニシテ　　　　　　 　　　　　 シ

城　　春　　草　　木　　深　　　城春にして深し

ジテハ　　　ニ　 　　ニモ 　　　ギ　　　　 ヲ

感レ 時　 花　 濺レ　涙　　 時に感じては花にも涙をぎ

ンデハ　　　レヲ　 　ニモ 　　　カス 　　　ヲ

恨レ 別 　鳥 驚レ　心 別れをんでは鳥にも心を驚かす

　ナリ　 　　　　　　 ニ

烽　 火　 連　 三　 月　　　に連なり

　ル　　　　 　　 　 ニ

家　 書　 抵　 万　 金　　　家書にる

　ケバ　 　　ニ　　 　 ク

白　 頭　 搔 更　 短　　　白頭けばに短く

ベテ　　 　ス　　　ざ　ラント 　　ヘ　　　　 ニ

渾 欲レ 不レ 勝レ 簪　　　べてにへざらんとす

問一　この漢詩の形式を何といいますか。　にあてはまる漢字を書きなさい。

　　　　　　　言　　　詩

問二　押韻している漢字を○で囲みなさい。（本文中に書き込みなさい。）

問三　五行目と六行目に返り点を付けなさい。（本文中に書き込みなさい。）

問四　この漢詩の一部が引用されている松尾芭蕉の作品を次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　ア　「土佐日記」　　　　イ　「おくのほそ道」　　　　ウ　「徒然草」

解答欄

|  |
| --- |
| 問一 |
| 言　　　　　詩 |
| 問二・問三は本文中に書き込みなさい。 |
| 問四 |
|  |